

河川砂防技術研究開発公募 砂防技術分野

平成26年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
火山地域における樹木を伴う山腹崩壊の発生と流動 (研究期間：H26年～H28年)	北海道大学 教授 丸谷 知己	A
<p><研究概要></p> <p>阿蘇外輪山などの火山地帯における表層崩壊事例をもとに災害発生降雨、地形、地質特性の分析を行い、表層崩壊発生の時期、規模、機構を解明することにより、表層崩壊の多発が予想される未開析な火山山腹斜面の抽出に資する提案を行う。</p> <p>また、仙北市などの立木が流動化した災害事例をもとに流木の有無による被害の特徴、規模等の分析を行い、土砂と一体化して流下する流木の挙動や氾濫区域の実態を解明し、土砂災害対策施設の計画・設計に資する提案を行うとともに、これらの成果を統合し土砂災害防止法の基礎調査の考え方を提示することを目的とする。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、火山地域における崩壊地の地形量の評価や土層構造調査により、崩壊・土砂移動メカニズムを提示しており、表層崩壊発生危険箇所の抽出に寄与することが期待できる。また、DSMとDEMの比較や二次元飽和-不飽和流解析と斜面安定解析により、流木の発生量の推定や、根系の緊縛力が崩壊の規模に与える影響の評価を行っている。これらの結果より、崩壊範囲や土石流被災範囲等の予測精度の向上が期待でき、樹木の影響等を考慮した土砂災害警戒区域や特別警戒区域の指定に発展する可能性が考えられる。</p> <p>今後は、樹木の根系の緊縛力が崩壊に与える影響を更に検討頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い